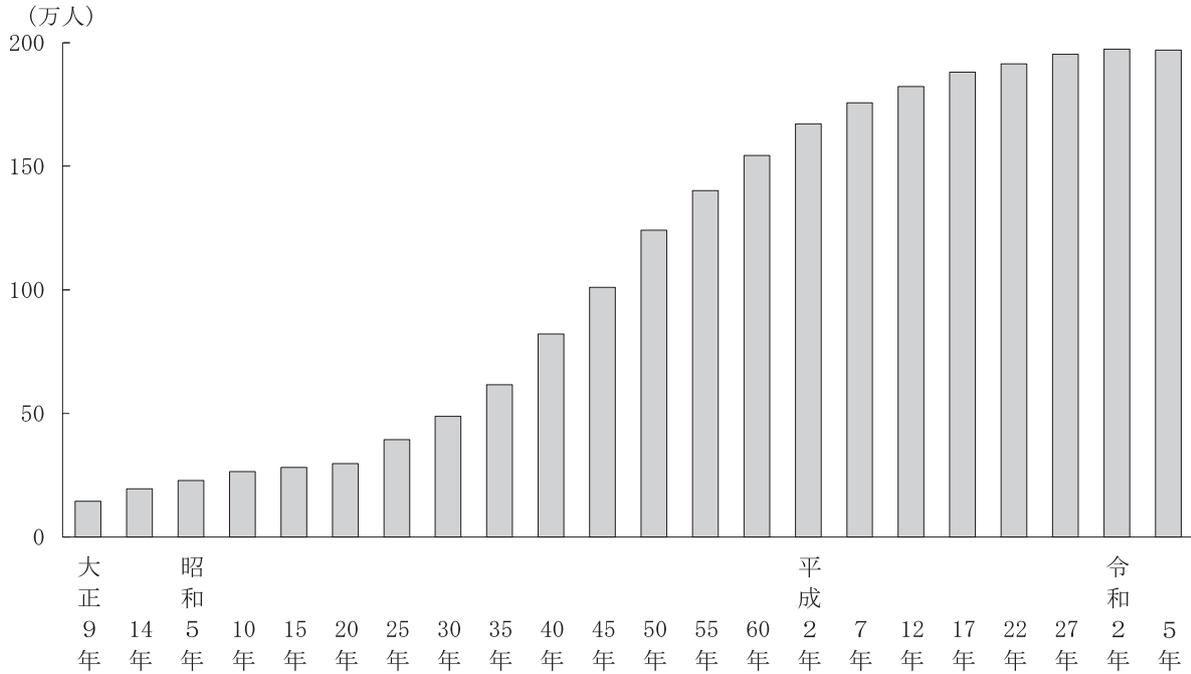


# グラフで見る札幌市の現在

グラフ

## 1 人口の推移

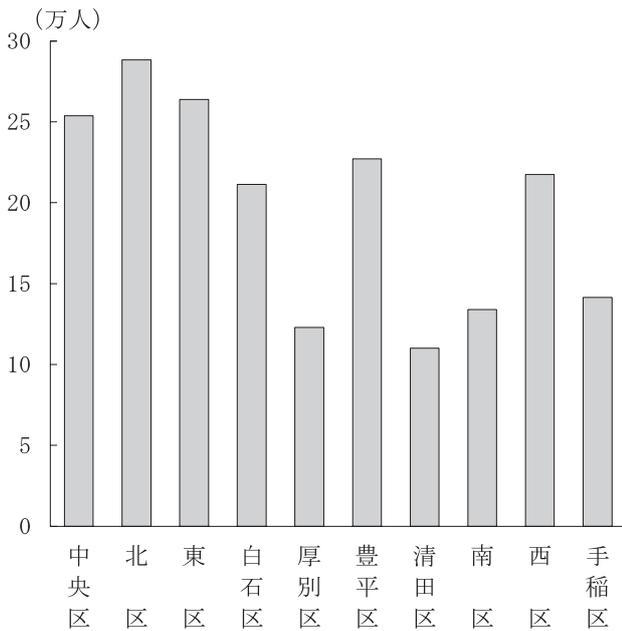
人口の推移（各年10月1日現在）



注：令和5年10月1日現在の市域による。  
 <資料> 総務省統計局「国勢調査」、まちづくり政策局政策企画部

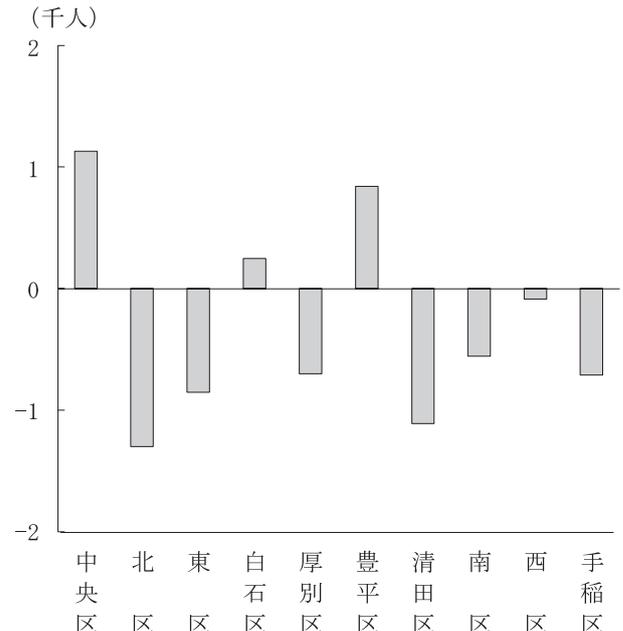
## 2 区別人口

区別人口（令和5年10月1日現在）



<資料> まちづくり政策局政策企画部

区別人口増加数（令和4年～5年）

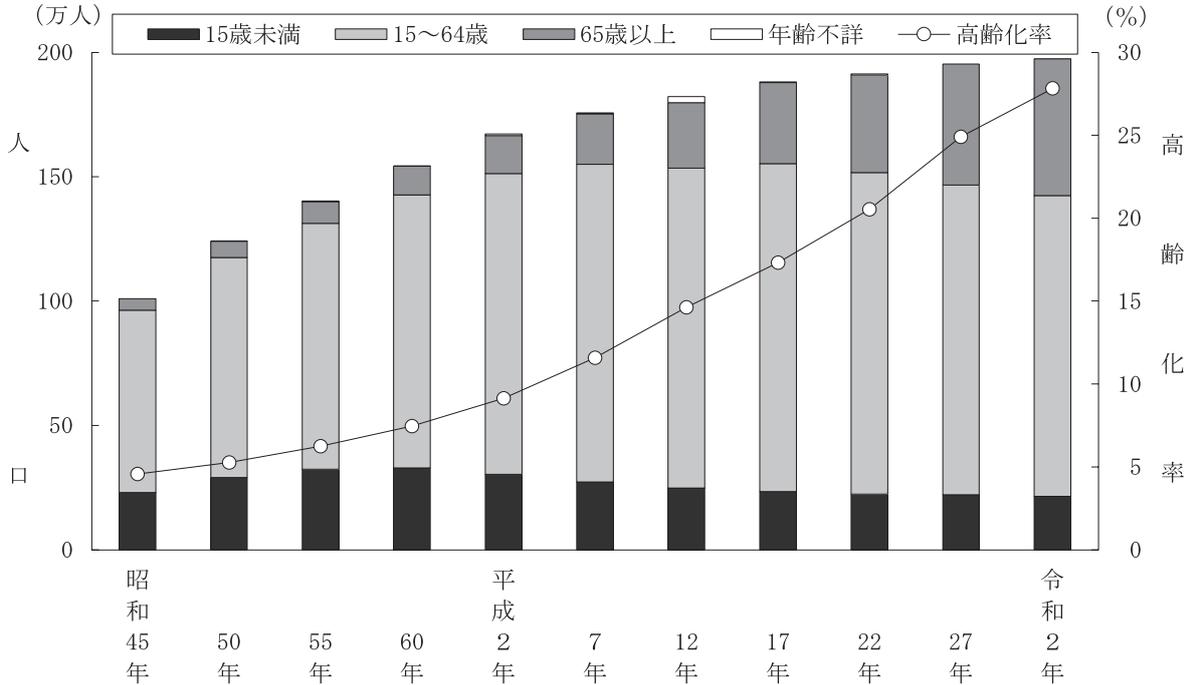


注：10月1日を基準とした1年間の増加数である。  
 <資料> まちづくり政策局政策企画部

### 3 年齢別人口

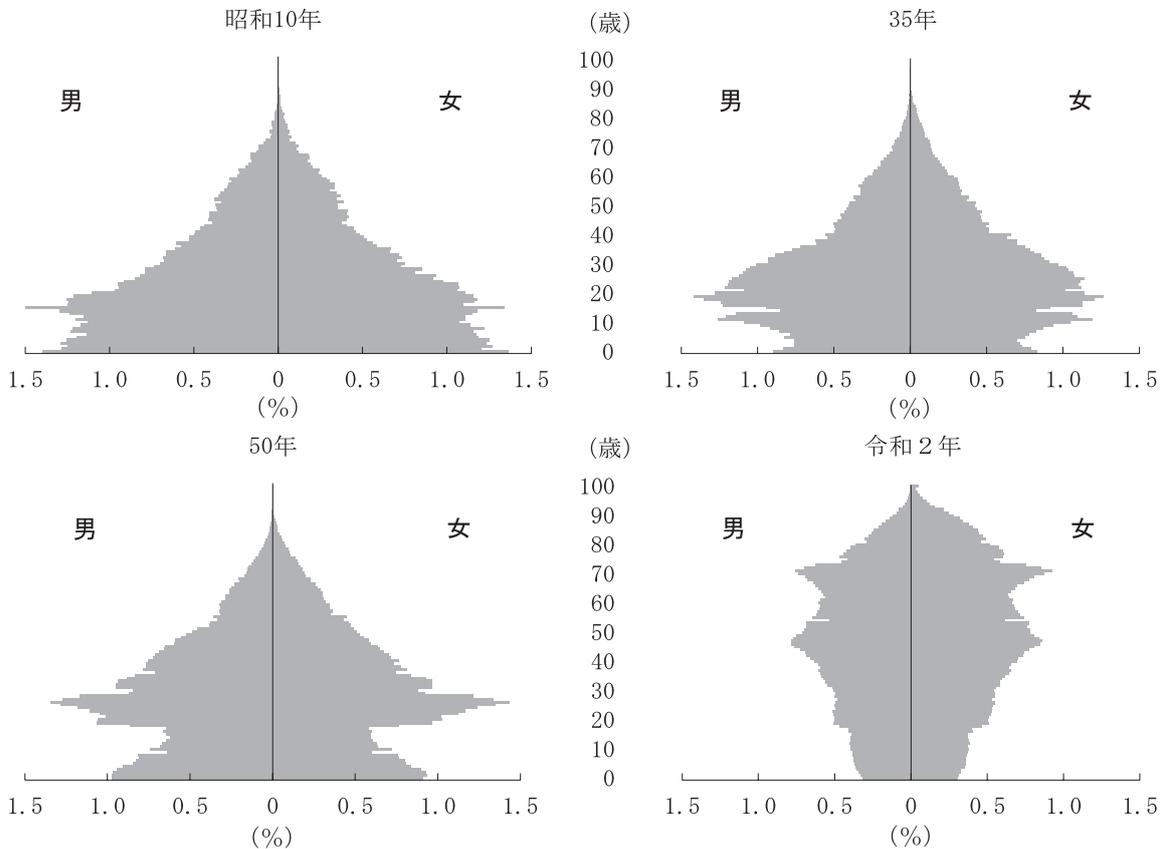
グラフ

年齢3区分別人口及び高齢化率の推移（各年10月1日現在）



注：平成27年及び令和2年は不詳補完値である。高齢化率は総人口に占める65歳以上人口の割合であり、平成22年以前は年齢「不詳」を除いて算出している。  
 <資料> 総務省統計局「国勢調査」

人口ピラミッドの推移（各年10月1日現在）

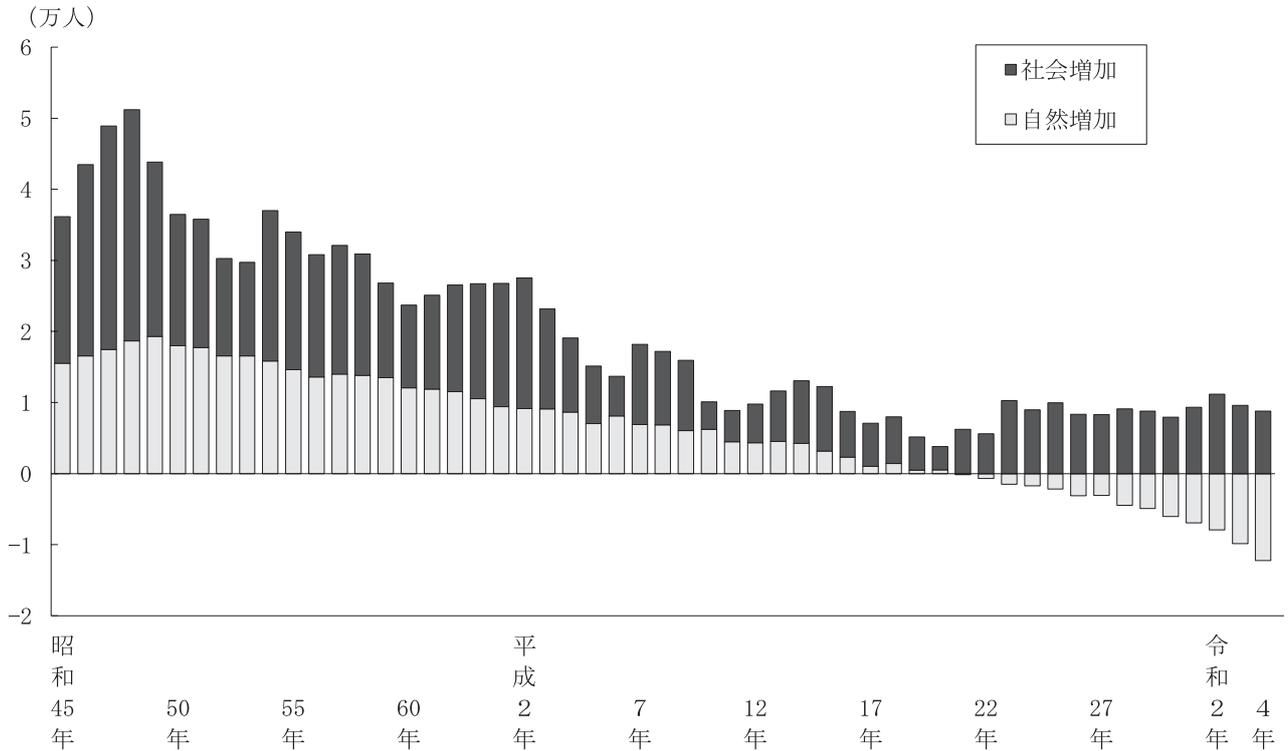


注：令和2年は不詳補完値による。  
 <資料> 総務省統計局「国勢調査」

## 4 人口動態

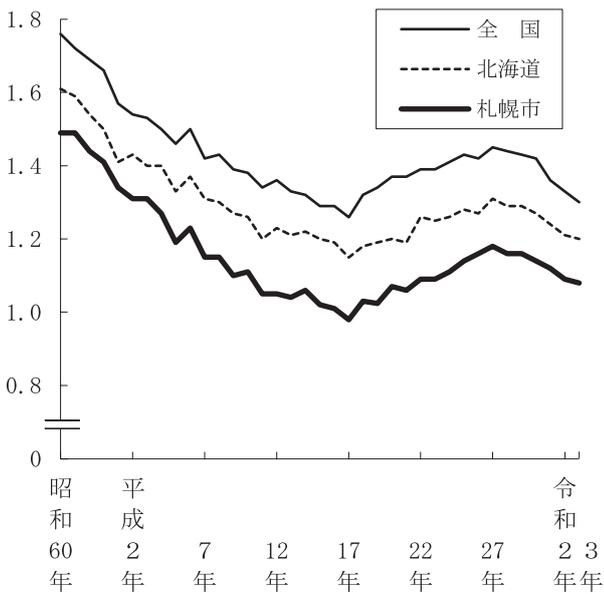
人口動態の推移（各年中）

グラフ



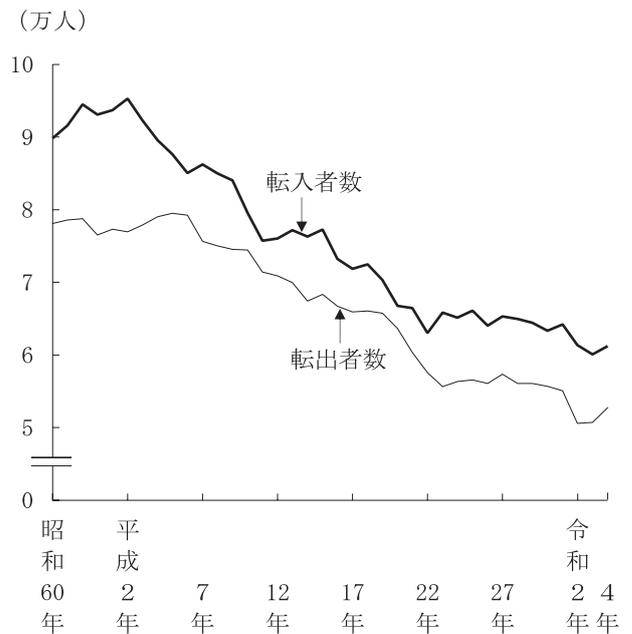
注：住民基本台帳による。日本人のみの数値である。「社会増加」には「職権等による増減」を含む。  
 <資料> まちづくり政策局政策企画部

札幌市、北海道及び全国の合計特殊出生率の推移



<資料> 厚生労働省「人口動態調査」、保健福祉局保健所

転入・転出者数の推移（各年中）

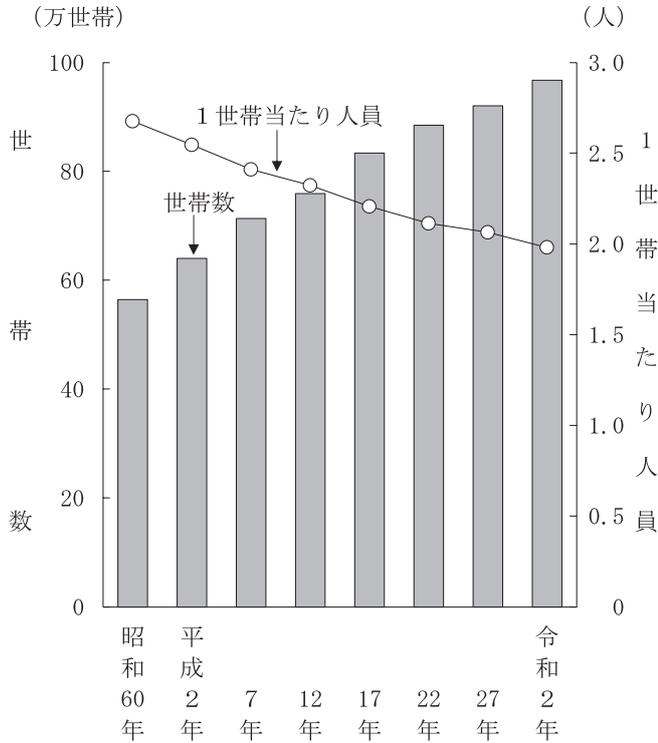


注：住民基本台帳による。日本人のみの数値である。  
 <資料> まちづくり政策局政策企画部

## 5 世帯及び外国人

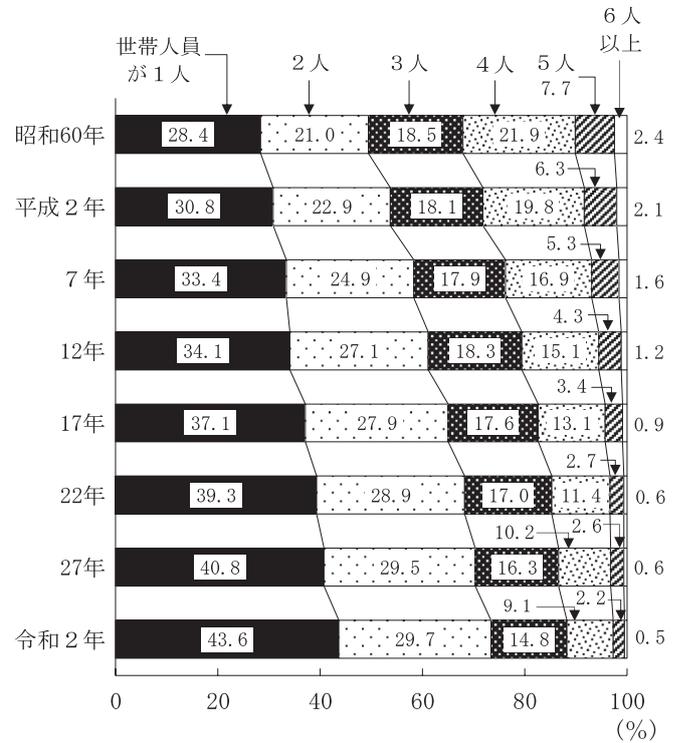
グラフ

一般世帯数及び1世帯当たり人員の推移  
(各年10月1日現在)



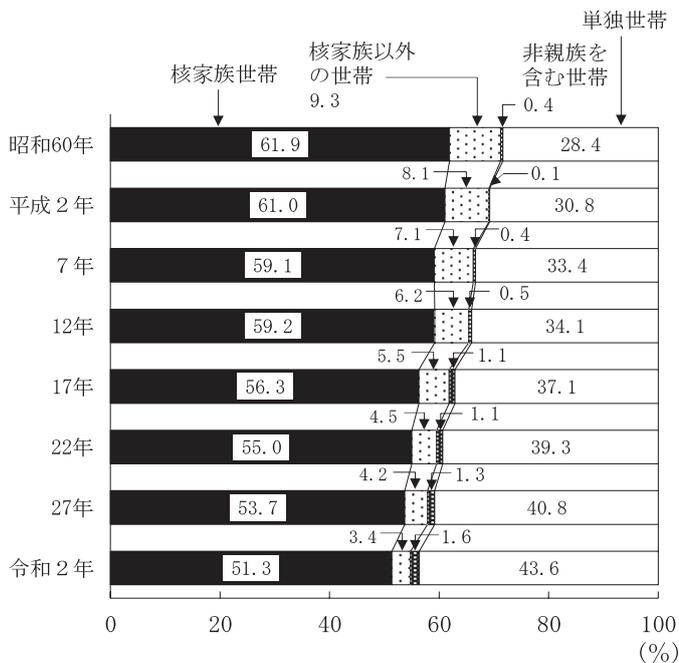
<資料> 総務省統計局「国勢調査」

一般世帯の世帯人員別割合の推移  
(各年10月1日現在)



<資料> 総務省統計局「国勢調査」

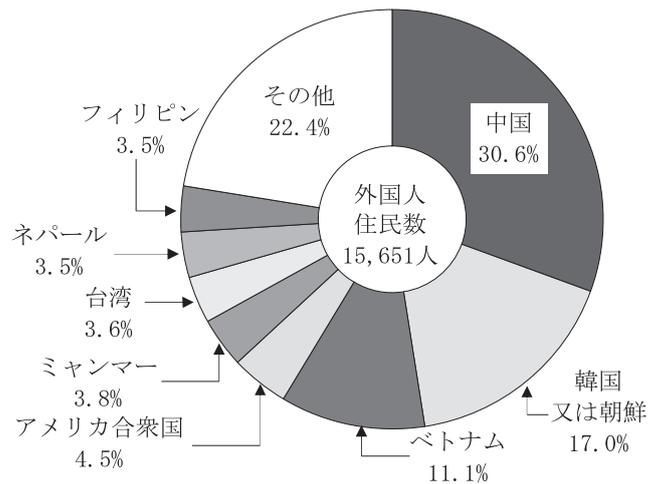
一般世帯の家族類型別割合の推移  
(各年10月1日現在)



注：「核家族以外の世帯」は、平成17年以前は「その他の親族世帯」。「非親族を含む世帯」は、平成17年以前は「非親族世帯」。

<資料> 総務省統計局「国勢調査」

国籍・地域別外国人住民数の割合  
(令和5年1月1日現在)



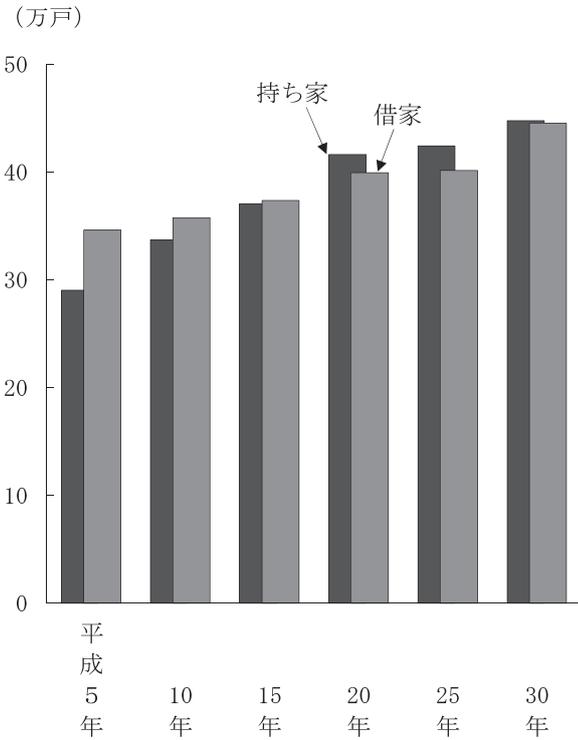
注：住民基本台帳による。

<資料> デジタル戦略推進局スマートシティ推進部

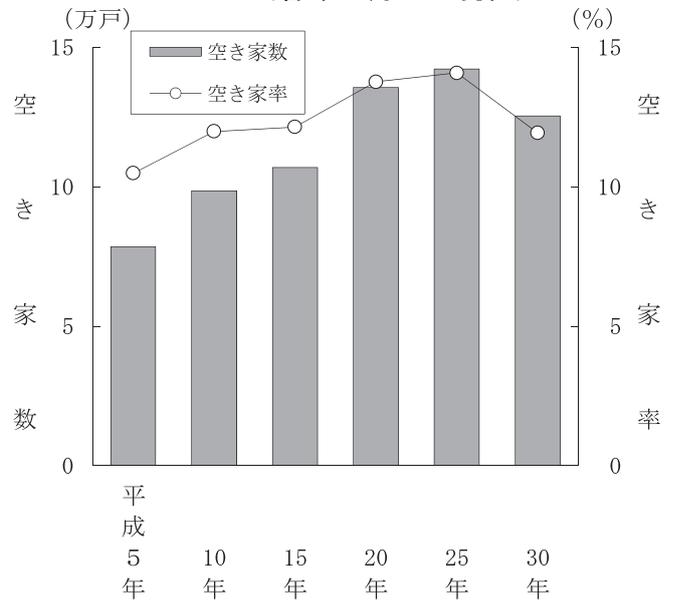
**6 住 宅**

グラフ

持ち家及び借家の住宅数の推移  
(各年10月1日現在)



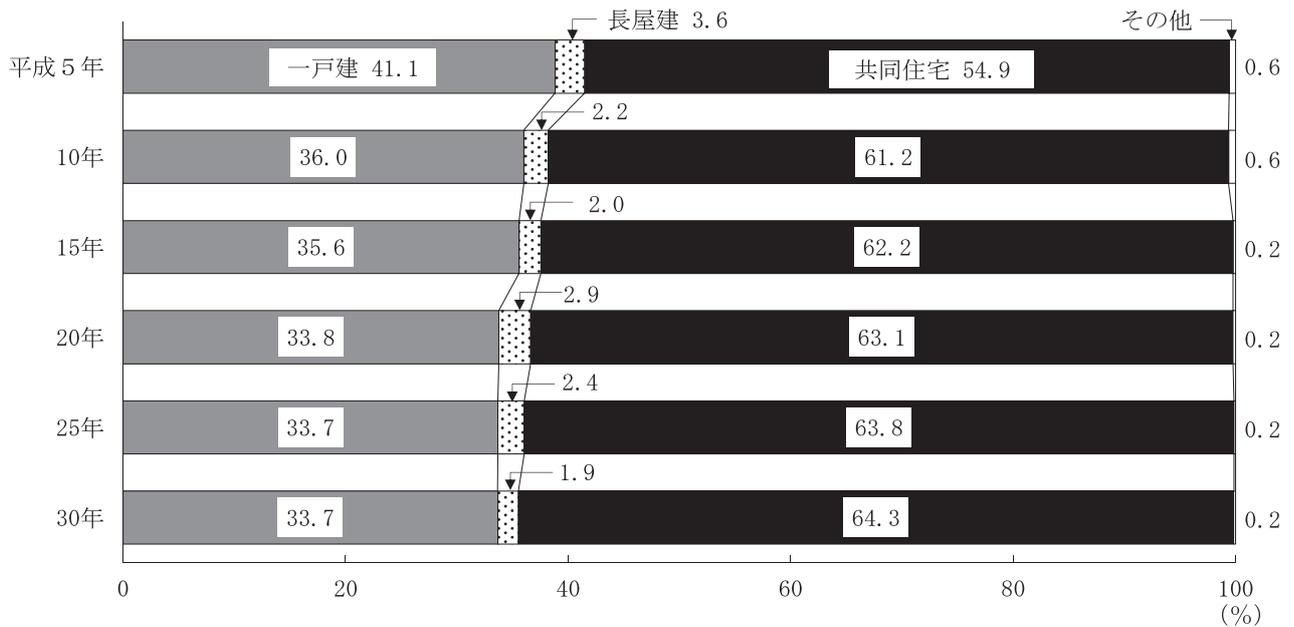
空き家数及び空き家率の推移  
(各年10月1日現在)



<資料> 総務省統計局「住宅・土地統計調査」

<資料> 総務省統計局「住宅・土地統計調査」

住宅の建て方別住宅数の割合の推移 (各年10月1日現在)

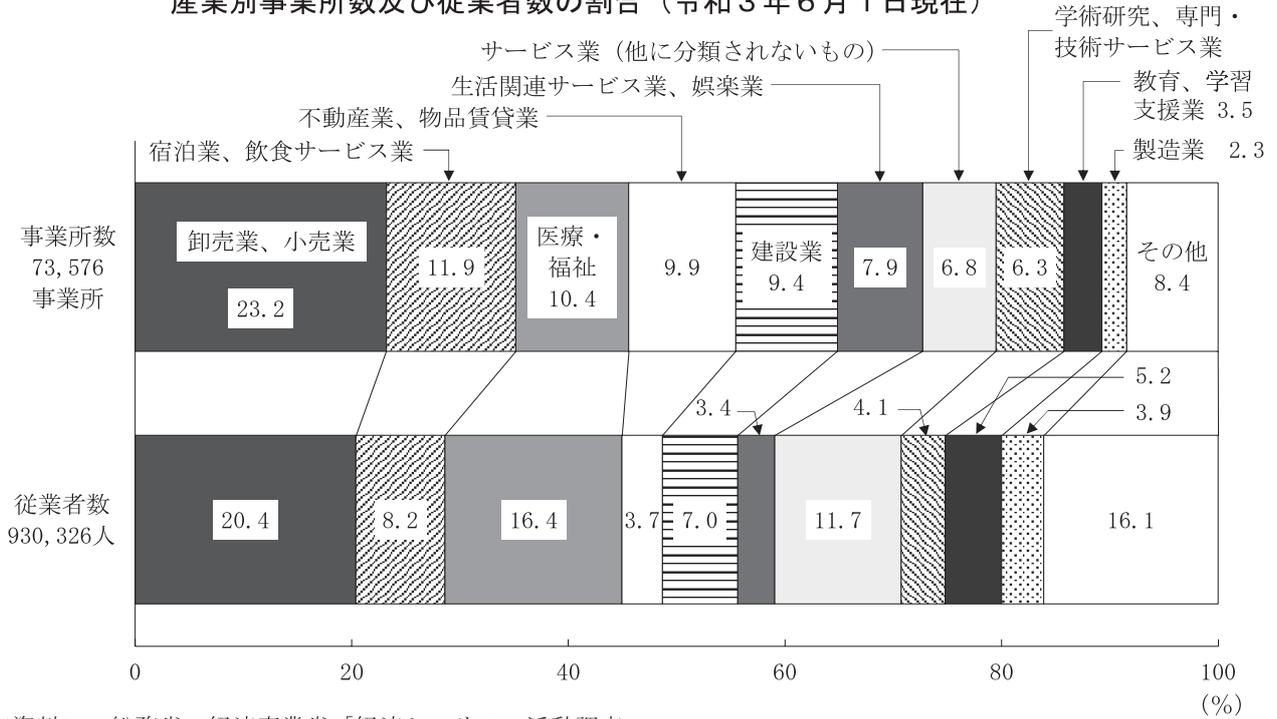


<資料> 総務省統計局「住宅・土地統計調査」

## 7 事業所

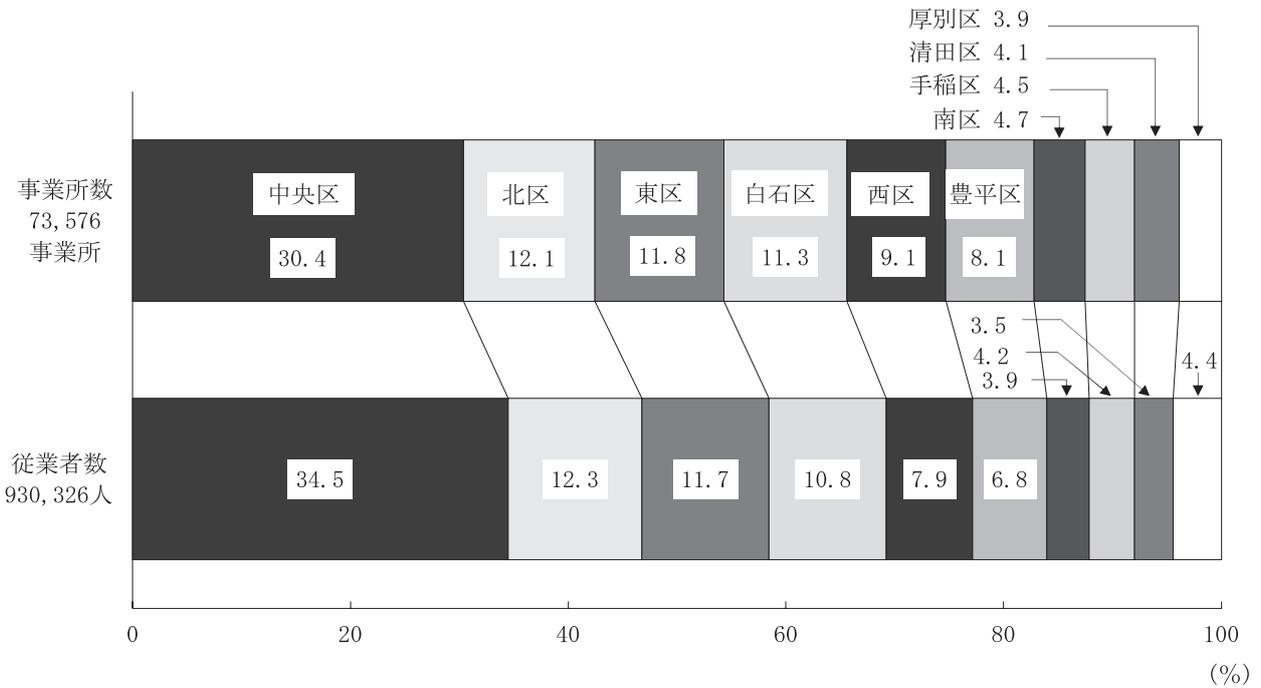
グラフ

産業別事業所数及び従業者数の割合（令和3年6月1日現在）



<資料> 総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」

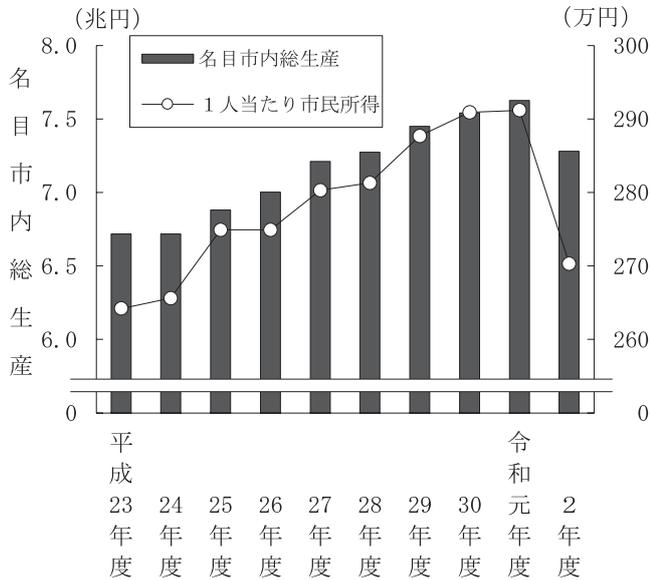
区別事業所数及び従業者数の割合（令和3年6月1日現在）



<資料> 総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」

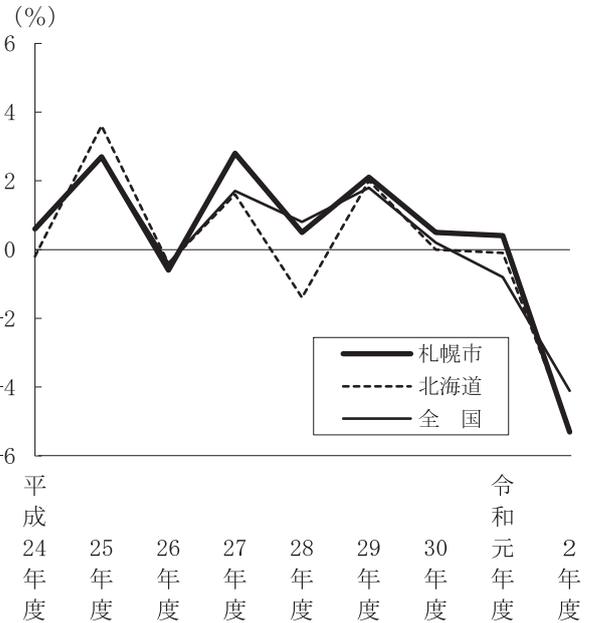
## 8 市民経済計算

名目市内総生産及び1人当たり市民所得の推移  
(各年度中)



<資料> まちづくり政策局政策企画部

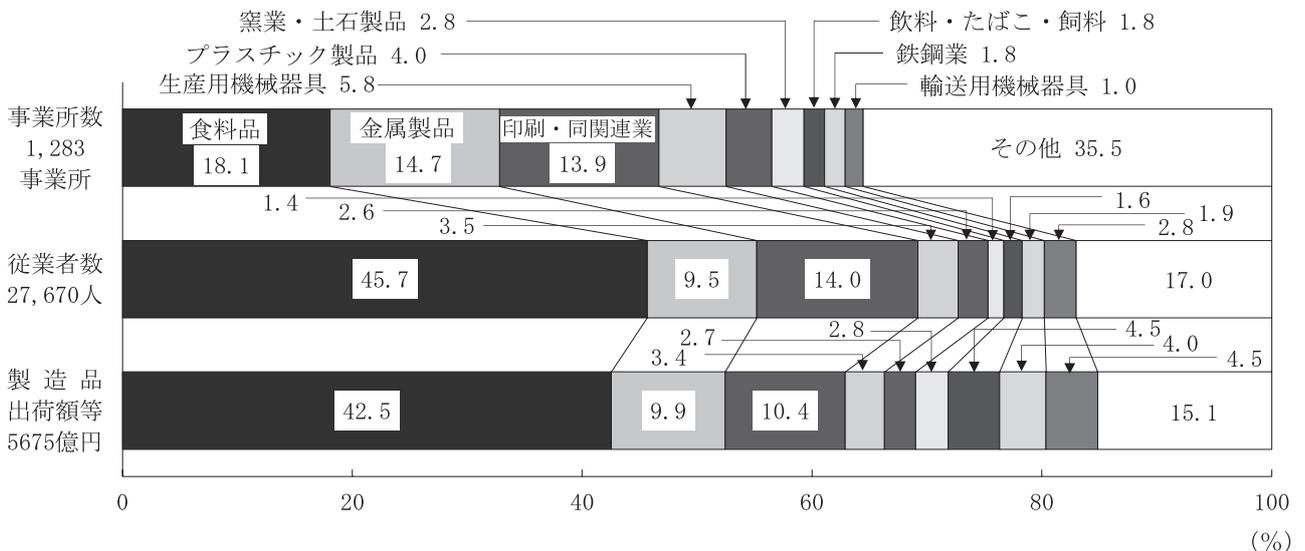
実質経済成長率の推移



<資料> 内閣府「令和3年度国民経済計算」、北海道「令和2年度道民経済計算」、まちづくり政策局政策企画部

## 9 工業

産業（中分類）別事業所数、従業者数、製造品出荷額等割合  
(令和4年6月1日現在)

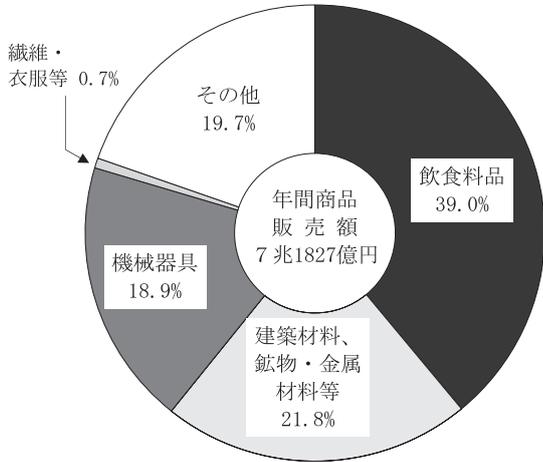


注：「製造品出荷額等」は、令和3年1月から12月までの1年の数値である。  
<資料> 総務省・経済産業省「経済構造実態調査（製造業事業所調査）」

# 10 商 業

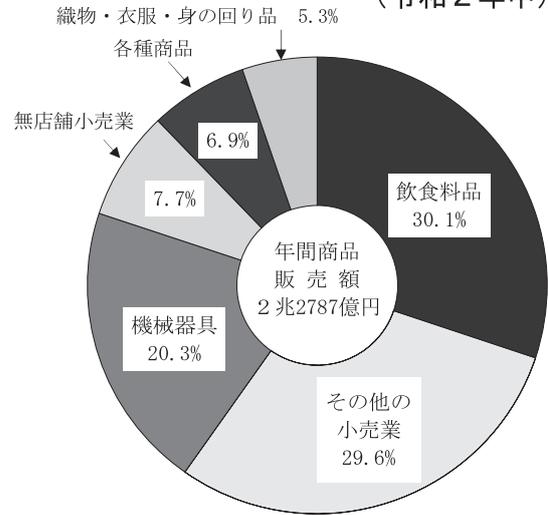
グラフ

卸売業の産業別年間商品販売額の割合  
(令和2年中)



<資料> 総務省・経済産業省「令和3年経済センサス—活動調査 産業別集計（卸売業、小売業）」

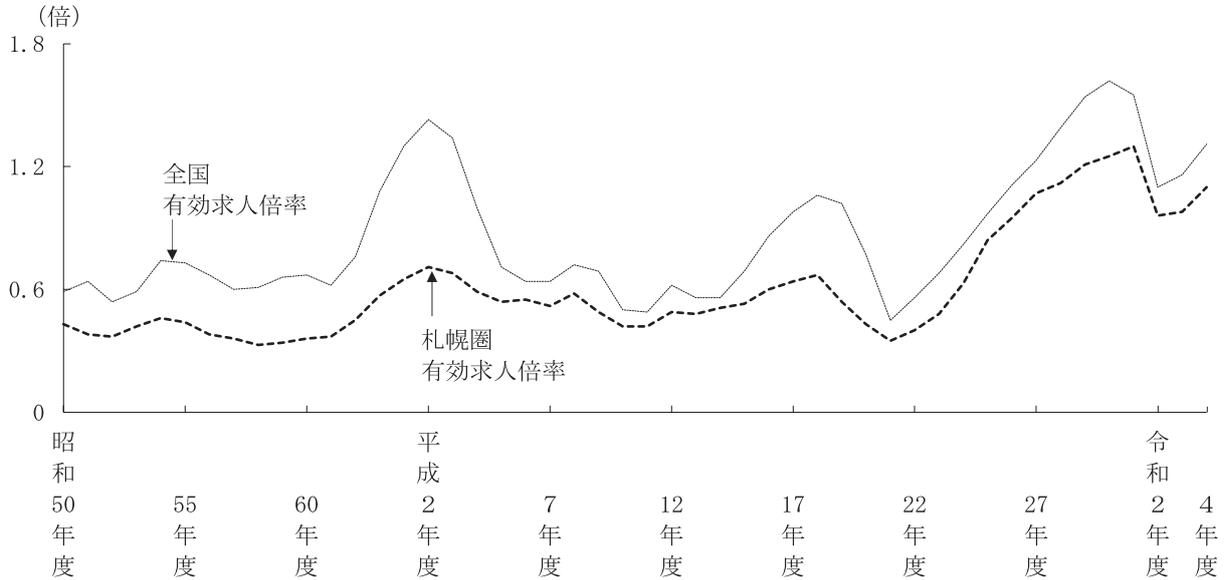
小売業の産業別年間商品販売額の割合  
(令和2年中)



<資料> 総務省・経済産業省「令和3年経済センサス—活動調査 産業別集計（卸売業、小売業）」

# 11 雇 用

有効求人倍率（全数）の推移（各年度中）



注：「札幌圏」は、本市のほか北広島市、石狩市（浜益区を除く）及び当別町を含む。

<資料> 厚生労働省「一般職業紹介状況」、厚生労働省北海道労働局

10区比較

区	面積 R5. 4. 1 km <sup>2</sup>	人口 R5. 10. 1 人	区別割合 %	年齢別割合 (R2. 10. 1)				人口動態 (住民基本台帳) (令和4年中)			合計 特殊 出生率 3年
				年少人口 15歳未満	生産年齢人口 15~64歳	老年人口 65歳以上	うち 75歳以上	総数	自然増加	社会増加	
				%	%	%					
全市	1,121.26	1,969,912	100.0	10.9	61.3	27.8	13.6	△1,156	△12,215	11,059	1.08
中央区	⑦ 46.42	③ 253,736	12.9	⑩ 9.6	① 66.6	⑩ 23.8	⑩ 11.9	① 2,788	④ △ 1,136	① 3,924	⑩ 0.92
北区	③ 63.57	① 288,346	14.6	③ 11.6	⑤ 61.3	⑥ 27.1	⑥ 13.1	④ △ 216	⑩ △ 1,708	③ 1,492	⑤ 1.10
東区	⑤ 56.97	② 263,774	13.4	⑤ 11.3	④ 62.4	⑦ 26.3	⑧ 12.6	⑦ △ 683	⑨ △ 1,408	⑥ 725	④ 1.12
白石区	⑨ 34.47	⑥ 211,362	10.7	⑥ 10.6	② 64.2	⑨ 25.2	⑨ 12.5	⑤ △ 274	③ △ 1,037	⑤ 763	③ 1.13
厚別区	⑩ 24.38	⑨ 122,789	6.2	⑧ 10.2	⑦ 57.1	② 32.7	② 15.9	⑩ △ 1,020	② △ 1,034	⑩ 14	⑨ 1.00
豊平区	⑧ 46.23	④ 227,163	11.5	⑦ 10.4	③ 64.0	⑧ 25.6	⑦ 13.0	③ 139	⑤ △ 1,147	④ 1,286	⑧ 1.01
清田区	④ 59.87	⑩ 110,020	5.6	① 12.7	⑧ 56.7	④ 30.6	④ 14.1	⑥ △ 625	① △ 808	⑨ 183	⑦ 1.02
南区	① 657.48	⑧ 133,921	6.8	⑨ 9.8	⑩ 54.3	① 35.9	① 18.2	⑨ △ 777	⑧ △ 1,393	⑦ 616	⑥ 1.08
西区	② 75.10	⑤ 217,412	11.0	④ 11.3	⑥ 60.5	⑤ 28.2	⑤ 13.9	② 210	⑦ △ 1,288	② 1,498	② 1.19
手稲区	⑥ 56.77	⑦ 141,389	7.2	② 12.1	⑨ 56.1	③ 31.8	③ 15.1	⑧ △ 698	⑥ △ 1,256	⑧ 558	① 1.32

区	一般世帯 (R2. 10. 1)				外国人人口 R5. 1. 1 人	住宅数 (H30. 10. 1)			事業所 (R3. 6. 1)			
	世帯数	1世帯当 たり人員	核家族 世帯の 割合	単独 世帯の 割合		住宅の建て方別割合		1住宅 当たり 延べ面積	事業所数	区別 割合	従業者数	区別 割合
						一戸建	共同 住宅					
全市	967,372	1.98	51.3	43.6	15,651	33.7	64.3	80.30	73,576	100.0	930,326	100.0
中央区	① 141,223	⑩ 1.70	⑩ 38.9	① 56.9	② 3,050	⑩ 10.8	① 88.7	⑩ 66.96	① 22,358	30.4	① 320,929	34.5
北区	② 139,449	⑥ 2.03	⑥ 51.1	⑤ 43.2	① 3,483	④ 42.5	⑦ 54.9	⑥ 82.41	② 8,887	12.1	② 114,151	12.3
東区	③ 130,904	⑦ 1.97	⑦ 50.1	④ 45.1	③ 1,871	⑦ 30.9	④ 66.3	⑦ 77.22	③ 8,709	11.8	③ 108,545	11.7
白石区	⑤ 108,077	⑧ 1.91	⑧ 47.3	③ 47.2	⑤ 1,431	⑧ 23.0	③ 74.6	⑨ 70.69	④ 8,315	11.3	④ 100,374	10.8
厚別区	⑨ 57,190	③ 2.13	③ 61.9	⑧ 33.4	⑧ 830	⑤ 38.3	⑥ 61.1	④ 85.76	⑩ 2,858	3.9	⑦ 41,338	4.4
豊平区	④ 118,472	⑨ 1.86	⑨ 46.4	② 49.3	④ 1,709	⑨ 21.5	② 76.6	⑧ 70.89	⑥ 5,960	8.1	⑥ 63,459	6.8
清田区	⑩ 45,524	① 2.38	① 68.6	⑩ 25.5	⑨ 742	① 65.3	⑩ 31.9	① 103.20	⑨ 3,018	4.1	⑩ 33,021	3.5
南区	⑦ 61,919	④ 2.10	④ 58.7	⑦ 36.1	⑦ 831	③ 54.7	⑧ 43.0	② 99.49	⑦ 3,445	4.7	⑨ 36,086	3.9
西区	⑥ 103,655	⑤ 2.04	⑤ 54.9	⑥ 39.9	⑥ 1,124	⑥ 35.5	⑤ 62.2	⑤ 85.62	⑤ 6,690	9.1	⑤ 73,741	7.9
手稲区	⑧ 60,959	② 2.26	② 63.8	⑨ 30.6	⑩ 580	② 58.5	⑨ 39.3	③ 95.41	⑧ 3,336	4.5	⑧ 38,682	4.2

区	製造業 (R4. 6. 1)				卸売業 (R3. 6. 1)				小売業 (R3. 6. 1)			
	事業所数	区別割合	製造品 出荷額等 3年中	区別割合	事業所数	区別割合	年間商品 販売額 2年中	区別割合	事業所数	区別割合	年間商品 販売額 2年中	区別割合
全市	1,283	100.0	567,458	100.0	5,182	100.0	7,182,736	100.0	8,413	100.0	2,278,709	100.0
中央区	⑤ 121	8.7	⑦ 25,993	3.6	① 1,665	32.1	① 3,872,219	53.9	① 2,294	27.3	① 577,736	25.4
北区	④ 136	7.9	⑥ 28,094	3.5	④ 517	10.0	④ 493,918	6.9	② 1,045	12.4	③ 291,551	12.8
東区	① 287	21.0	② 120,585	19.9	③ 810	15.6	③ 711,460	9.9	③ 991	11.8	② 302,007	13.3
白石区	③ 226	21.8	③ 105,612	21.3	② 958	18.5	② 1,085,713	15.1	⑤ 806	9.6	⑤ 212,828	9.3
厚別区	⑧ 39	3.3	④ 50,564	8.7	⑦ 144	2.8	⑦ 143,083	2.0	⑩ 424	5.0	⑨ 112,414	4.9
豊平区	⑦ 57	4.2	⑧ 23,599	3.9	⑥ 330	6.4	⑥ 304,331	4.2	⑥ 663	7.9	⑥ 186,123	8.2
清田区	⑩ 35	1.7	⑨ 16,510	2.6	⑧ 122	2.4	⑧ 73,724	1.0	⑨ 456	5.4	⑦ 142,424	6.3
南区	⑧ 39	2.3	⑩ 6,553	0.6	⑩ 96	1.9	⑩ 14,356	0.2	⑦ 459	5.5	⑩ 93,536	4.1
西区	② 235	20.3	① 139,903	27.6	⑤ 432	8.3	⑤ 431,133	6.0	④ 816	9.7	④ 239,944	10.5
手稲区	⑥ 108	8.9	⑤ 50,045	8.3	⑨ 108	2.1	⑨ 52,798	0.7	⑦ 459	5.5	⑧ 120,147	5.3

# 21大都市比較

グラフ

都市	面積 R5. 4. 1 km <sup>2</sup>	人口 R5. 10. 1 人	年齢別割合 (R2. 10. 1)			人口増加数 令和4年中 人	合計特殊 出生率 3年	事業所 (R3. 6. 1)	
			年少 人口 %	生産年 齢人口 %	老年 人口 %			事業所数	従業者数
札幌市	③ 1,121.3	⑤ 1,969,912	⑱ 10.9	⑫ 61.3	⑧ 27.8	⑪ △ 1,156	⑳ 1.08	⑥ 73,576	⑥ 930,326
仙台市	⑦ 786.4	⑫ 1,097,814	⑪ 11.8	④ 64.2	⑰ 24.1	⑤ 2,121	⑱ 1.13	⑩ 47,923	⑩ 610,095
さいたま市	⑰ 217.4	⑩ 1,343,826	⑤ 12.8	⑥ 63.6	⑱ 23.6	④ 7,107	⑪ 1.25	⑫ 40,874	⑫ 559,027
千葉市	⑰ 271.8	⑬ 979,532	⑮ 11.4	⑩ 61.8	⑨ 26.8	⑧ 688	⑬ 1.21	⑰ 28,344	⑭ 449,403
東京都区部	⑨ 627.5	① 9,783,988	⑰ 10.9	① 67.6	⑳ 21.5	① 46,339	⑰ 1.09	① 508,722	① 8,493,109
横浜市	⑫ 437.8	② 3,771,766	⑫ 11.7	⑦ 63.2	⑯ 25.1	⑫ △ 2,434	⑬ 1.21	④ 117,684	③ 1,618,721
川崎市	⑳ 143.0	⑦ 1,545,604	⑧ 12.3	② 67.4	⑳ 20.3	⑥ 1,691	⑫ 1.22	⑪ 41,731	⑪ 578,007
相模原市	⑮ 328.9	⑰ 725,087	⑯ 11.4	⑨ 62.5	⑪ 26.1	⑨ 6	⑯ 1.18	⑳ 22,055	⑳ 263,504
新潟市	⑧ 726.3	⑰ 768,868	⑬ 11.6	⑱ 58.7	③ 29.7	⑰ △ 5,699	⑥ 1.33	⑯ 33,746	⑯ 392,788
静岡市	② 1,411.9	⑳ 677,286	⑰ 11.3	⑳ 58.2	② 30.5	⑱ △ 5,340	⑨ 1.29	⑮ 33,987	⑱ 370,283
浜松市	① 1,558.1	⑯ 779,780	③ 12.9	⑰ 58.9	⑦ 28.2	⑭ △ 3,067	④ 1.37	⑭ 34,295	⑮ 402,549
名古屋市	⑯ 326.5	④ 2,326,683	⑨ 11.9	⑧ 62.8	⑮ 25.3	⑦ 976	⑧ 1.30	③ 118,472	④ 1,527,059
京都市	⑤ 827.8	⑨ 1,443,486	⑳ 10.5	⑪ 61.3	⑥ 28.2	⑮ △ 3,609	⑰ 1.17	⑦ 70,491	⑦ 786,278
大阪市	⑱ 225.3	③ 2,770,520	⑳ 10.6	⑤ 63.7	⑬ 25.7	③ 9,720	⑳ 1.04	② 178,312	② 2,394,461
堺市	⑳ 149.8	⑮ 812,027	⑦ 12.4	⑰ 58.6	⑤ 29.1	⑰ △ 4,730	⑥ 1.33	⑳ 27,666	⑳ 339,838
神戸市	⑩ 557.0	⑧ 1,499,887	⑭ 11.5	⑯ 59.4	④ 29.2	⑳ △ 6,806	⑩ 1.27	⑧ 63,051	⑧ 771,382
岡山市	⑥ 790.0	⑳ 699,112	④ 12.8	⑬ 61.1	⑫ 26.1	⑬ △ 2,467	⑤ 1.36	⑰ 33,300	⑰ 378,508
広島市	④ 906.7	⑪ 1,185,498	② 13.3	⑭ 61.1	⑭ 25.7	⑯ △ 4,418	③ 1.39	⑨ 53,218	⑨ 634,618
北九州市	⑪ 492.5	⑭ 916,241	⑩ 11.9	⑳ 56.4	① 31.7	⑳ △ 7,229	① 1.52	⑬ 40,659	⑬ 460,429
福岡市	⑭ 343.5	⑥ 1,642,571	⑥ 12.7	③ 65.4	⑰ 21.9	② 13,133	⑮ 1.20	⑤ 75,779	⑤ 967,803
熊本市	⑬ 390.3	⑱ 738,020	① 13.5	⑮ 60.1	⑩ 26.4	⑩ △ 248	② 1.49	⑱ 30,891	⑱ 358,440

都市	製造業 製造品 出荷額等 3年中 億円	卸売業 (R3. 6. 1)		小売業 (R3. 6. 1)		市(都)民経済計算(令和2年度)			有効求人 倍率 (全数) 3年度中 倍
		事業所数	年間商品 販売額 2年中 億円	事業所数	年間商品 販売額 2年中 億円	市(都)内 総生産 (名目) 億円	実質経済 成長率 (連鎖) %	1人当り 市(都) 民所得 千円	
札幌市	⑳ 5,675	⑤ 5,182	⑥ 71,827	⑧ 8,413	⑤ 22,787	⑥ 72,801	⑩ △5.3	⑮ 2,703	⑯ 0.98
仙台市	⑰ 10,128	⑦ 4,589	⑤ 71,955	⑪ 6,085	⑨ 14,879	⑪ 50,268	⑬ △6.1	⑧ 3,049	⑥ 1.44
さいたま市	⑱ 8,821	⑫ 2,279	⑪ 38,987	⑬ 5,115	⑪ 13,231	...	...	...	⑭ 1.04
千葉市	⑬ 12,835	⑱ 1,503	⑫ 26,398	⑰ 3,799	⑫ 11,620	⑫ 40,319	⑦ △3.5	⑨ 3,046	⑪ 1.11
東京都区部	⑥ 34,119	① 32,004	① 1,531,575	① 50,752	① 154,061	① 1,096,016	⑪ △5.6	① 5,214	⑤ 1.45
横浜市	② 41,533	⑥ 4,905	⑦ 68,758	③ 14,340	③ 38,461	③ 140,632	⑤ △3.3	⑤ 3,316	⑯ 0.98
川崎市	④ 39,571	⑰ 1,391	⑯ 20,375	⑮ 4,962	⑬ 11,572	⑧ 63,016	② △1.8	④ 3,531	⑳ 0.68
相模原市	⑮ 11,617	⑳ 782	⑳ 5,584	⑳ 2,671	⑳ 6,009	...	...	...	⑳ 0.75
新潟市	⑭ 11,851	⑬ 2,234	⑬ 22,169	⑫ 5,136	⑯ 8,958	⑮ 31,422	⑧ △4.0	⑬ 2,882	② 1.59
静岡市	⑪ 22,376	⑪ 2,354	⑮ 21,249	⑭ 5,113	⑰ 7,727	...	...	...	④ 1.53
浜松市	⑫ 20,034	⑯ 1,998	⑰ 19,190	⑯ 4,888	⑰ 8,727	⑯ 31,413	③ △2.2	⑪ 2,936	⑩ 1.12
名古屋市	⑦ 33,553	③ 10,024	③ 226,045	④ 13,079	④ 32,329	④ 133,725	⑮ △6.3	③ 3,709	③ 1.54
京都市	⑩ 26,207	⑨ 3,508	⑨ 44,850	⑤ 10,112	⑧ 16,587	⑨ 61,776	⑬ △6.1	⑭ 2,815	⑮ 1.03
大阪市	③ 40,818	② 15,709	② 356,003	② 18,888	② 41,271	② 195,162	⑨ △4.9	② 3,736	① 1.60
堺市	① 42,306	⑳ 1,228	⑳ 10,261	⑳ 3,568	⑳ 7,450	⑭ 34,807	① 5.1	⑥ 3,206	⑰ 0.90
神戸市	⑤ 34,209	⑩ 3,190	⑩ 43,752	⑦ 8,750	⑦ 17,882	⑦ 69,721	④ △3.1	⑫ 2,926	⑱ 0.92
岡山市	⑯ 10,691	⑮ 2,158	⑭ 21,275	⑰ 4,515	⑮ 9,081	...	...	...	⑧ 1.42
広島市	⑧ 27,762	⑧ 4,131	⑧ 60,214	⑨ 6,522	⑩ 14,067	⑩ 52,765	⑥ △3.4	⑦ 3,151	⑨ 1.13
北九州市	⑨ 26,289	⑭ 2,201	⑱ 17,140	⑩ 6,359	⑭ 10,040	⑬ 36,696	⑫ △5.9	⑯ 2,575	⑫ 1.07
福岡市	⑰ 6,245	④ 6,596	④ 114,375	⑥ 9,377	⑥ 21,206	⑤ 73,862	⑯ △6.7	⑩ 2,985	⑬ 1.07
熊本市	⑳ 4,533	⑰ 1,744	⑱ 14,841	⑱ 4,435	⑱ 8,422	...	...	...	⑦ 1.43

## ご あ い さ つ

令和5年版札幌市政概要を刊行するにあたって、一言ごあいさつを申し上げます。

昨年の選挙において、多くの方々のご支持とご信託をいただき、引き続き市長として札幌市政を担わせていただくことになりました。3期目も引き続き、目前の課題に迅速に対応するとともに、人口減少や脱炭素社会への対応など、社会経済情勢の変化に対応しながら、札幌がより魅力的なまちであり続けるために、全力で取り組んでまいります。

昨年は、2031年度までのまちづくりの基本的な指針となる、「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン（戦略編）」と、このビジョンに掲げる都市像の実現に向けて具体的な施策を定めた5年間の中期実施計画である「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2023」を策定いたしました。

今後、札幌市の人口減少が一段と進む中で、様々な課題が顕在化することが見込まれますが、札幌のまちが今後も魅力と活力を創造し続けるために、経済力を高めることにより税収を伸ばし、それを行政サービスの充実につなげ、まちの魅力を更に向上させていく好循環をより一層確かなものにしていくことが重要です。中長期の展望を持ちながら、都市の魅力向上や人材の育成など将来に向けた投資と、市民生活に直結する喫緊の課題への対応をバランスよく両輪で進めていく必要があります。

このため、アクションプラン2023では、SDGsの視点に加え、ビジョンに掲げる「ユニバーサル（共生）」「ウェルネス（健康）」「スマート（快適・先端）」「人口減少緩和」の観点も踏まえながら、100年先を見据えた取組を進めてまいります。具体的には、子ども・子育て施策の更なる充実を図り、まちの魅力と活力の向上に資する取組を強化していきます。また、札幌を持続可能で希望あるまちとして将来世代に引き継いでいくため、脱炭素社会や共生社会の実現に向けた取組のほか、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進や健康寿命の延伸の取組を進めるなど、複雑化した課題に対して分野横断的に取り組みます。

札幌が世界に誇れる都市としての魅力と活力に一層磨きをかけ、リードしていくようなまちになれるように、まちづくりの計画を市民・企業の皆さまと共有・連携しながら、オール札幌で協働して着実に取り組んでまいります。

本書は、種々の統計資料を基礎に、さまざまな課題に取り組む本市の現在の状況を紹介したものですので、ご活用いただければ幸いです。

終わりに、本書刊行にあたり、貴重な資料の提供にご配慮をいただいた関係各位に対し、深く感謝の意を表しますとともに、今後とも一層のご協力をお願い申し上げます。

令和6年（2024年）2月

札幌市長 秋元克広



## 本書を利用される皆様へ

本書は4部立てにより、構成されています。

第1部「札幌市のあゆみと将来像」は、本書の総論として、札幌の過去、現在、未来の流れをまとめました。

第2部「市政の概況」は、事業別の各論として、種々のテーマに取り組む札幌市の姿を、多くの表や写真を使い紹介したものです。

第3部「市政の仕組みと管理」は、札幌市の行財政を支える議会、組織などについて記述しました。

「各区のまちづくりの取組」は、最新のデータをもとに、10区の現況、歴史、まちづくりの取組を紹介しました。

なお、本書で使用した各種統計表をご覧になる場合は、次の事項にご留意の上、ご利用ください。

### 1 統計表の時間的区分について

年（暦年）……1月1日～12月31日まで

年度（会計年度）……4月1日～翌年3月31日まで

### 2 統計表中の符号の用法について

「－」……皆無および該当がない場合

「…」……不詳の場合

「0」……単位未満の場合

「△」……マイナスの場合

「x」……数値が秘匿されているもの

「r」……訂正数字

### 3 数値の単位未満、平均値および指数などの算出方法は四捨五入を原則としたため、合計数値とその内訳の計とが一致しない場合があります。

本書について、ご意見、ご感想をお寄せください。

札幌市まちづくり政策局政策企画部